

# 瓊浦

第1号

平成28年7月2日発行

瓊浦高等学校

住所 長崎市伊良林  
2丁目13番4号

電話 826-1261(代)

FAX 820-5245

## 4年ぶり15回目の 県大会優勝!!



## 自分たちのプレーを

実力の差を見せつけ、圧倒的な差で優勝!!とはいかなかった。県高総体3日目、決勝の相手は長年のライバル長崎日大高校。昨秋の新人戦、春の春季戦と大差で勝利を収めており、高総体でも当然勝てるだろうと周囲から期待されて迎えた一戦。

同じように優勝候補と言われていた女子が目の前で敗れたのを見て、全く動揺がないとは言いが切れなかった。「もしかしたら自分たちも...」。誰もが一瞬、頭の中によぎった嫌なイメージ。しかし、主将の林田(龍普3A)は言った。「俺らは俺らのプレーをしよう」。

試合が始まると、なかなか思うようなプレーが出来ない時間帯が続く。悪い流れを引き戻せない。前半を終えて12-12の同点。舞台は高総体、相手は長崎日大。予想はしていたが、決して楽な戦いはい出来ない。後半に入ると、徐々に自分たちのリズムが出てきた。常にリードした状態でプレーができ、安定したディフェンスで相手の得点を許さない。

誰もが優勝を確信した試合終盤、こちらのミスから立て続けにゴールを決められ、一点差に詰め寄られる。けれども、最後にキーパーの原口(龍普3B)が相手のシュートをキャッチし、試合終了。見事、4年ぶり15回目の県大会



(写真提供 長崎新聞社)

優勝を果たした。

試合を振り返って主将の林田は、「とりあえず、ほっとした。最後バタバタしたが、勝って良かった。」と正直な感想を述べた。

2週間後に行われた九州大会。1、2回戦を勝ち進んで迎えた相手は、春の全国選抜大会準優勝の高分高校(大分)。夏のI日本番を占う上でも大事な一戦。どちらが勝ってもおかしくない一進一退の攻防が続いたが、結果は一点差での敗戦。敗れはしたものの、自分たちが全国トップレベルであるということに自信を持つことができた試合だった。

全国大会への抱負を聞くと、林田は、「今までやってきたことを全て出し切れば、全国優勝も見えてくると思う。もう一度全国の舞台で、末岡先生を胸上げたい」と力強く語った。

今年のI日の舞台は山口県。山口の地で再び、末岡先生の体が宙に舞うことを今から期待しよう。

### たのみのうら

先日、長崎市民会館で行われた、お笑い芸人TIMのゴルゴ松本さんの講演会に参加する機会があった。

ゴルゴ松本さんといえば、TVのバラエティ番組等で活躍しており、「命」などのギャグが有名である。近年は、自身の甲子園出場などの経歴を活かし、スポーツ系のバラエティ番組などで姿を見かけることが多い。そうした芸能活動の傍ら、ボランティア活動として少年院や刑務所への慰問を行っており、「人生の在り方や生き方」「夢を持つこと」などを熱弁されており、反響も大きい。

その松本さんの特別講演のテーマは、「命の授業」で、頑張ればいつか夢は叶う」というもの。話の中で何度も出てきたのは、「やればできる」というフレーズだった。「やればできる」という言葉は、誰もが必ず耳にしたことがあるはずだ。けれども、実際に「やればできる」ことを信じている人は意外に少ない。誰もが、年齢を重ねる中で、「やってもできない」ことに直面する。そうした中で、いろんなことを諦め、自分自身を諦めてしまう。

けれども、松本さんは言う。失敗して諦めてしまったら、結果は失敗のまま。再度挑戦して失敗しても、結果は失敗のまま。五回、十回、百回と失敗しようが、最後に成功すれば、結果は成功となる。だったら、成功の方がいいに決まっている。諦めず、挑戦し続けなければならない。のではないかと。

そんな松本さんの座右の銘が、  
為せば成る、為さねば成らぬ何事も、  
成らぬは人の為さぬなりけり

というものだそう。後半は、あまり知られていないが、「できないのは、その人が本気にならずにやっていないからだ」という意味である。

私たちは、壁にぶつかったとき、「どうせできない」と自分を納得させ、諦めるという楽な道を選んでしまいがちである。けれども、上手くいかなかったとき、自分の行動を振り返ってみてほしい。本当にやりきったのか、少しでも手を抜かなかったか、まだ出来ることはなかったか。そして、本当にできないのか...。

いつまでも挑戦し続ける。それは、諦めるよりもずっと過酷な道であろう。けれども、諦めるよりもずっと格好いい生き方ではないだろうか。

# いざ、全国の舞台へ!!

## 卓球部 九州大会準V!!

**県** 大会3連覇を達成し、王者として臨んだ九州大会。もちろん目指すは優勝。全国の頂点を目指す瓊浦男子卓球部にとって、県大会、九州大会はあくまでも通過点。とはいえ、各県を勝ち抜いてきた相手校はどこも強豪。決して気を抜けない戦いが続く。

優勝候補筆頭の前評判通り、順当に決勝まで駒を進めると、相対するのは九州の強豪、福岡の希望が丘高校。昨年の九州選抜では勝った相手だが、実力は伯仲しており、どちらが勝ってもおかしくない接戦が予想された。

戦いが始まると展開は予想通り、接戦の連続。ぎりぎりの攻防が続く。相手のエースは本校の田中（龍普3A）の小学生か



らのライバル。麻生監督は、今大会絶好調の田中をあえて相手エースにぶつけ、勝利を狙った。結果は惜しくも敗戦。続くダブルスでも相手に取られ、1-3での敗戦となった。田中は決勝を振り返って、「勝てる試合だったが、最後に守りに入ってしまった。全国までにメンタルを更に鍛え、リベンジしたい」と悔しそうに語った。

次の舞台は、夏に岡山で行われる全国大会。昨年はベスト4と大躍進を果たした。全国への抱負を聞くと、主将の中ノ瀬は、「全国に出てくる学校はどこもレベルが高い。気の抜ける試合は一試合もない。だからこそ、普段の練習から、1ポイント1ポイント、一球一球を大切にしていきたい」と語ってくれた。

最後に全国大会の目標を聞くと、「優勝」と力強く語った中ノ瀬。九州大会の反省を活かし、全国ではさらなる輝きを見せてくれることを期待したい。

### 県高総体

- 2 回戦 瓊浦 3-0 諫早
- 3 回戦 瓊浦 3-0 吉岐
- 準々決勝 瓊浦 3-0 島原工
- 準決勝 瓊浦 3-0 長崎北陽台
- 決勝 瓊浦 3-0 鎮西

### 九州総体

- 1 回戦 瓊浦 3-0 中津東(大分)
- 2 回戦 瓊浦 3-1 慶誠(熊本)
- 準決勝 瓊浦 3-0 福岡工業(福岡)
- 決勝 瓊浦 1-3 希望が丘(福岡)

## 快進撃!!

## 男子バドミントン 九州準V!!

**も** はや県内に敵はいない。見ているのは更に上だ、と言わんばかりに完全優勝という形で県高総体団体2連覇を決めて迎えた九州大会。昨年は九州大会、全国大会ともに初戦敗退という悔しい結果となり、強豪校とのレベルの差を痛感させられた。昨年から主力として活躍している現2、3年生にとっては、この一年間の練習の成果が問われる大会。そんな大会で、瓊浦男子バドミントン部は期待通り、いや期待以上の活躍を見せ、九州高校バドミントン界に旋風を巻き起こしてくれた。

1 回戦を順調に勝ち上がり、迎えた2回戦の相手は福岡の自由ヶ丘。昨年の全国選抜大会でベスト4となった強豪校。厳しい戦いが予想されたが、選手たちは自分たちの力を十分に出し切り、見事勝利を収め、準決勝進出を決めた。準決勝の相手は宮崎の日章学園。こちらも全国ベスト8の強豪。試合途中、主力である村本（普2D）が足をつるというアクシデントもあり、厳しい状況に追い込まれながらも、他の選手が決して諦めず、勝利をもぎ取った。

決勝の相手は、長年絶対的な九州王者として君臨する熊本の八代東。村本を欠き、ベストメンパーとは言えない状態の中、応援を含めたチーム全員が一丸となつて戦った。後半逆転を許し、準優勝という結果に終わってしまったが、一時は王者をあと一歩の所まで追い詰め、瓊浦の

名を改めて九州中に知らしめる大活躍であった。

主将の原口（龍普3A）は、「九州大会は厳しい試合の連続だったが、チーム一丸となつて戦うことが出来た。全国の強豪と互角に戦えたことで、自信となった。全国大会では、県大会、九州大会で見つかった課題を克服し、優勝目指して頑張りたい」と九州大会の感想、そして全国大会への抱負を語ってくれた。

今回の九州大会の結果で、名実ともに全国トップクラスの仲間入りを果たした男子バドミントン部。九州大会の勢いそのままに、全国の舞台でも大暴れしてくれることを思うと、今から夏が待ち遠しい。

### 県高総体

- 2 回戦 瓊浦 3-0 諫早
- 3 回戦 瓊浦 3-0 大村
- 準々決勝 瓊浦 3-0 長崎南
- 準決勝 瓊浦 3-0 佐世保実業
- 決勝 瓊浦 3-0 佐世保北

### 九州総体

- 1 回戦 瓊浦 3-0 九州学院(熊本)
- 2 回戦 瓊浦 3-1 自由ヶ丘(福岡)
- 準決勝 瓊浦 3-1 日章学園(宮崎)
- 決勝 瓊浦 1-3 八代東(熊本)





# 「グー」

試合終了を告げる「グー」の音が鳴り響くと、選手たちは一斉に泣き崩れた。静まりかえる応援席。誰も何も言えなかった。「信じられない」という思いだけがそこにあった。「信じられない」その思いは、相手チームにもあったのかも知れない。会場中に響き渡る相手チームの喜びの声。盛り上がる反対側の応援席。その光景が全てを物語っていた。

始まりは2年前。現在の主力である3年生5人が揃って瓊浦高校の門を叩いたのがきっかけだった。男子は全国屈指の強豪として名高いが、女子ハンドボールなど影も形もなかった瓊浦高校。そこに中学校時代、長崎県の選抜メンバーだった5人が入学した。決して楽な環境ではなかった。練習は、男子が練習を終えた後、夜遅くまで続いた。練習前に毎日走っていた矢の平。少ない人数では当然ながら満足のいく練習はできなかった。また、帰りが夜遅くにおよぶため、毎日のように保護者に迎えに来てもらわなければならなかった。そんな厳しい環境においても、瓊浦でIHに出場したいという強い思いで練習を重ねた初年度。人数が足りないため、一般性の中から助っ人を頼んで出場した高総

体や新人戦。周囲からその実力は認められながらも、一点差や延長戦で、常に苦杯をなめた。そんな5人の姿を見て、実力のある後輩たちが入学し、人数も揃った発足2年目。練習環境も改善し、充実した練習が出来るようになった。県高総体こそ敗れたものの、秋の新人戦では地区、県大会共に優勝。春の選抜大会に出場し、初の全国を経験した。県高総体の前哨戦ともいえる春季戦でも優勝を果たし、4月からは、正式に部活動として認められ、万全の体制で高総体本番に臨んだ。

初めて第1シードで迎える県高総体。順当に決勝まで勝ち進むと、決勝の相手はこちらも初優勝を狙う清峰高校。普通にやれば勝てる相手。勝たなければならぬという重圧が選手達にのしかかった。試合が始まると一進一退の攻防が続く。しかし、なかなかリード

# 3年間の軌跡!!

## ～女子ハンド 惜しくも県高総体準優勝～

を広げることができず、こちらの流れにすることが出来ない。選手達は決勝戦を振り返って、「普段通りのプレーができず、決めるべきところで決められなかった」と口をそろえて言った。最後の最後に追いつかれて突入した延長戦。気持ちの面で相手の方が勝っていた。結果は1点差での敗北。最後の夏、全国の舞台上に進むことはできなかった。

「主将の江崎（龍普3B）は、「IHを目標に頑張ってきたので、本当に悔しい。勝てる試合で勝てなかった。自分たちのミス、気持ちの弱さが出てしまった」と悔しげに語った。初めは5人でスタートした瓊浦高校女子ハンドボール部。今回負けはしたものの、堂々の県準優勝は、誰にも恥ずかしくない立派な成績だ。県下に瓊浦の女子ハンドの名を十分に轟かせてくれた。彼女たちは道を残してくれた。今後、思いを受け継ぐ後輩達が、更に良い成績を残してくれることだろう。夏のIHでは彼女たちの勇姿を見ることは叶わなかったが、彼女たちの3年間の頑張りは皆の記憶に残ることだろう。

準優勝おめでとう、女子ハンドボール部の3年間に心から拍手を送りたい。



# 平成28年度 長崎県高等学校総合体育大会 結果

## 男子バドミントン部

団体 優勝  
松林 雄太(龍機3A)  
荻塚 賢一郎(龍機3A)  
I H 出場決定!!

ダブルス 優勝  
I H 出場決定!!

第2位 村本 竜馬(普2C)  
辻 凌也(龍普2B)

第3位 原口 翔多(龍普3A)  
長野 恭大(龍普3A)  
九州大会出場決定!!

シングルス 優勝  
原口 翔多  
I H 出場決定!!

第2位 村本 竜馬  
I H 出場決定!!

第3位 辻 凌也  
九州大会出場決定!!

松林 雄太  
九州大会出場決定!!

## 卓球部

男子団体 優勝  
中ノ瀬 聡汰(機3D)  
I H 出場決定!!

第3位 池松 潤一郎(龍機3A)  
李 明辻(龍普3B)  
李 佳睿(龍普3B)  
I H 出場決定!!

シングルス 優勝  
中ノ瀬 聡汰  
I H 出場決定!!

第2位 田中 侑人  
I H 出場決定!!

第3位 田中 侑人  
I H 出場決定!!

女子団体 第2位  
九州大会出場決定!!

第2位 田添 莉奈(龍普3A)  
黄 佳怡(普1B)  
I H 出場決定!!

ダブルス 第2位  
田添 莉奈(龍普3A)  
黄 佳怡(普1B)  
I H 出場決定!!

## 男子ハンドボール部

優勝  
田添 莉奈  
I H 出場決定!!

第3位 黄 佳怡  
I H 出場決定!!

I H 出場決定!!

## 女子ハンドボール部

第2位  
九州大会出場決定!!

## 空手道部

男子団体 優勝  
山口 将吾(龍普3A)  
I H 出場決定!!

第3位 宮崎 悠矢(機3C)  
九州大会出場決定!!

個人形 第3位  
金子 圭一郎(普3C)  
九州大会出場決定!!

女子団体 一回戦敗退  
九州大会出場決定!!

## ボクシング

団体総合 第3位  
小田 竜徳(普3C)  
I H 出場決定!!

ミドル級 優勝  
安達 登威(機3B)  
I H 出場決定!!

ライトフライ級 優勝  
濱崎 一馬(機2D)  
岩住 拓弥(機2B)  
小川 修弥(機2C)  
大久保 豪人(普3D)

ライト級 第3位  
岩住 拓弥(機2B)

バンタム級 第3位  
小川 修弥(機2C)

フライ級 第3位  
大久保 豪人(普3D)

## 水泳部

7名九州大会出場決定!!

男子1500M自由形 第3位  
三田 拓人(機1D)

男子200M平泳ぎ 第4位  
山口 吉生(機2C)

男子50M自由形 第6位  
横山 遼(機2D)

男子100M平泳ぎ 第5位  
上川内 祐一(機3B)

男子200M個人メドレー 第5位  
横山 遼

男子200M自由形 第6位  
佐藤 郁也(機1C)

男子400M自由形 第6位  
佐藤 郁也

女子100M平泳ぎ 第5位  
林 唯衣(情2A)

女子200M平泳ぎ 第5位  
林 唯衣

女子400M個人メドレー 第6位  
林田 綾音(情2A)

## 陸上部

男子1600Mリレー 第5位  
城尾 朋季(普2D)  
友成 拓哉(機3C)  
宮下 拳舞(普2D)  
朝長 翼(機3C)  
北九州大会出場決定!!

男子5000M 第6位  
片山 拓海(普3D)  
北九州大会出場決定!!

## バレーボール部

二回戦敗退

## 男子バスケットボール部

三回戦敗退

## 女子バスケットボール部

二回戦敗退

## 剣道部

男子団体 予選リーグ敗退  
女子団体 予選リーグ敗退

## 柔道部

男子団体 ベスト8  
女子団体 一回戦敗退

## 女子バドミントン部

一回戦敗退

## サッカー部

二回戦敗退

## ソフトテニス部

男子団体 三回戦敗退

## 平成28年度2学期行事予定

8月 24日 始業式  
26日 振替休日  
29日 第3回学校見学会  
(第3回実力考査)  
(1,2年)

9月 1日 就職応募書類発送  
進学保護者会  
体育祭予行  
10日 体育祭  
12日 振替休日(体育祭)  
13日 就職出陣式  
14日 進学推薦委員会  
16日 就職選考試験開始  
入試説明会(中学校)  
17日 3年対外模試  
(18日)

10月 1日 第3回学校見学会  
8日 秋季学習合宿  
(10日)

10月 14日 球技大会  
29日 対外模試(1,2年)

11月 1日 私学振興大会  
2日 瓊浦祭(3日)  
4日 振替休日(瓊浦祭)  
5日 3年対外模試  
(6日)

11月 11日 長崎県高総文祭  
(13日)  
29日 期末考査(2日)

12月 7日 人権教育  
17日 県下一斉模試  
(1,2年)

12月 20日 終業式